

協会名	会長名	事務局	事務局長	設 立 年 月 日
会津ユ ネスコ 協会	宮森武子	市教委生涯学習 課内 会津若松市栄町 5-20	高田陽子	55.11.16
相馬ユ ネスコ 協会	大谷 健	市教委生涯学習 課内 相馬市中村大手 先13	櫻岡光子	63. 7.15
いいた てユネ スコ協 会	佐藤幸夫	村役場内 飯館村伊丹沢字 伊丹沢580-1	佐藤俊雄	4. 3. 7
福島県 ユネス コ連絡 協議会	折笠興四郎	県教委生涯学習 課内 福島市杉妻町2- 16	松井和夫	56.12. 5

3 ユネスコ活動指導者研究協議会

- (1) 月 日 平成8年9月5日(木)
(2) 会 場 須賀川市文化センター
(3) 参加者数 ユネスコ活動関係者、社会教育関係者、学
校教育関係者、関心のある方 108名

4 国際交流活動研修会

- (1) 期 日 平成8年9月19日(木)
(2) 会 場 泉崎村中央公民館
(3) 参加者数 国際交流事業関係者、社会教育関係者、学
校教育関係者、在日外国人 179名

第5節 家庭 教 育

1 概 要

家庭は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な場であることから、親自らが積極的に学び、しっかりとした信念と自信をもって子育てに当たる必要がある。

しかし、近年、核家族化、少子化、就労女性の増加、価値観の多様化など、子どもを取り巻く環境は著しく変貌を遂げ、子育てに対する不安や悩みなどは益々深刻なものとなっている。

そこで、当面している家庭教育上の諸問題の解決を援助するために、必要と思われる情報や学習機会を提供するとともに、子育てに関する適切な助言や援助が行える相談体制の整備と相談員の養成、普及・啓発資料の作成などにより、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実振興を図った。

2 「のびゆく福島っ子」家庭教育充実事業

- (1) 協力機関
福島県教育センター、市町村教育委員会
(2) 事業実施主題
「親子の絆を深め、子どもの健やかな成長と自立を援助する家庭教育」

(3) 事業内容

① 企画推進委員会の開催

家庭教育上の諸問題の原因等を分析し、家庭教育関係資料の作成や研修会の企画並びに立案を行うほか、課題解決に関する具体的方策の研究に当たった。

[企画推進委員]

氏 名	役 職 名	備 考
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	◎
大 宮 勇 雄	福島大学教育学部助教授	○
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
樋 口 勝 也	桜の聖母短期大学教授	
遠 藤 正 俊	富士病院副院長	
加 藤 一 夫	県衛生公害研究所長	○
石 村 由 美 子	郡山女子大学短期大学部教授	
糠 沢 修 一	福島テレビ編成局長	
新 家 淳 子	家庭教育電話相談員	
安 斎 悦 子	大槻中央幼稚園長	
松 崎 信 夫	児童家庭課主査	○
武 内 敏 英	県教育センター教育相談部長	
佐 藤 和 子	義務教育課指導主事	○

(◎印 委員長 ○印 すくすく通信編集委員兼任)

② 育児資料「すくすく通信」の作成・配布

「すくすく1歳」を14,000部作成し、各市町村教育委員会を通して該当する幼児を持つ家庭と、公民館を始めとする関係機関に配布した。

③ 家庭教育電話相談「すくすくダイヤル」の開設

ア 相談日 毎週月曜日から金曜日まで
イ 時 間 午前9時30分から午後2時まで
ウ 電話番号 0245-53-8222
エ 電話相談員

(◎印 推進委員 ○印 すくすく通信編集委員兼任)

氏 名	役 職 名	備考
新 家 淳 子	家庭教育アドバイザー	◎
成 田 由 美 子	心理判定士	
酒 井 芳 子	臨床心理士	
林 千 枝 子	家庭教育アドバイザー	
飯 塚 康 代	臨床心理士	
島 貫 ノ ブ	家庭教育ふれあいネットワーカー	
松野内 勢津子	家庭教育ふれあいネットワーカー	○

オ 相談状況 相談件数 380件

カ 相談内容

- 1位 健康発育・性の問題
2位 育児保育
3位 家庭内の人間関係
4位 不登校

④ 家庭教育巡回相談の実施